



川の流れの速さは、どのようにしてはかるの

流速計ではかる

川の流れの速さははかるには、流速計という機器を使います。水の流れによって回転するつばさを回転させて、その回転する速さから、流れの速さはかります。流速計には、一定の回転ごとに、メーターで表す電気式流速計と、音を出す音きょう式流速計があります。

うきを使ってはかる

うきを使って、流れの速さはかります。うきには、水の表面にうく「表流うき」や、「棒状のうき」があります。表流うきは風の影響が大きいため、日本では、竹を加工した棒うきをよく使います。流れの速さはかるには、うきを水面にうかべて、うきが一定のきよりを流れる時間から、流れの速さはかります。何回も流れの速さはかり、その平均の速さから、流れの速さを決めます。

化学薬品などを使ってはかる

川の水にとかした化学薬品が、電気を伝えるはたらきを利用して、流れの速さはかります。食塩などを一定のこさにとかして川に流し、下流の決まった場所で、電気の伝わり方をはかります。電気の伝わり方によって、食塩がとけた川の水が、その場所についたことがわかり、流れの速さはかることができます。

また、色素（色のもとになる物質）でそめた水を流し、それが流れる時間から、流れの速さはかる方法もあります。（監修・国司 真）

